



より良いモノづくりのために 染色・プリントの事故事例



モノづくりにおいて染色やプリントについては様々な手法や工程、注意ポイントなどがあります。
そこで染色やプリントに関する「よくあるトラブル」をシリーズでご紹介します！

《今回のテーマ》 反応染料の加水分解による色泣き



現象

購入後、保管し、着用前に洗濯したところ、
赤いプリントの水玉部分から色がにじみ出た。



原因

プリントに使用されている反応染料が加水分解した
ため、洗濯時の水分により、色泣きが発生した。



対策

- ・耐加水分解性の良好な反応染料の選定及び使用
- ・使用染料に応じたフィックス剤（湿潤堅ろう度向上剤）の選定及び使用
- ・色泣き試験や加水分解加速処理後の色泣き試験等、事前試験による生地
の性能チェック（配色使いの場合など）
- ・高温高湿の環境下での保管は避ける。



【色泣き試験】

反応染料：色泣き事故の2大要因

- ① 染色後のソーピング不足…繊維上に未固着染料が残存する
→色泣き試験で綿白布に汚染が生じる →ソーピング後は改善
- ② 染料が加水分解され汚染…大気的水分によって繊維⇄染料間の化学結合が
分解(加水分解)される
→ソーピングをしても改善されない

- ①は湿潤堅牢度(水・汗・色泣き試験等)で事前に予知することが可能だけど
- ②は加水分解を想定した事前確認までしないと、予知することが難しいんだケン



上記の内容についてご不明な点等ございましたらお近くのボーケンまでお気軽にお問い合わせください

公式Instagram

■ 東京試験センター ☎ 03-5669-1380
〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目12番1号

■ 大阪試験センター ☎ 06-6577-0200
〒552-0021 大阪市港区築港1丁目6番24号

■ 名古屋試験センター ☎ 052-231-0861
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目25番15号

■ 岡山試験センター ☎ 086-231-2700
〒700-0936 岡山市北区富田422-1



@boken1948